

シャーロック・ホームズ

「まだらのひも事件」 (JJド11) コナン・ドイル/作  
「マザリンの宝石事件」 (JJド1) 内田 庶/訳  
岩崎書店 岡本 正樹/絵



← まず紹介するのは、こちらに入っている「青い宝石」。クリスマス用の“がちょう”の中からみつかったのは、世間をさわがせている伯爵夫人の宝石だったんだ。いったい、どうしてここに？

「マザリンの宝石事件」と合わせて、名探偵ホームズの推理を楽しんでね。



# よむぞうタイムズ

76号

3年生 4年生

狭山市立図書館 2019.12.1発行

いつも目にしている石。  
どこから来たのか、考えたことってある？  
それはね、地球の中から。そして元々は宇宙から。  
今回のテーマは「みつけたよ 石」。  
石がつなげる物語も紹介するよ。



## おはなしの庭 (冬のおはなし会)

日時：12月25日(水) 午前11時から30分くらい  
内容：東京子ども図書館の浅見和子さん(市内在住)によるすばなし  
場所：中央図書館 2階 おはなしのへや  
対象：小学生から 定員：なし  
費用：無料 申込み：不要



## 「オレはどうくつ探検家」(J454ヨ)

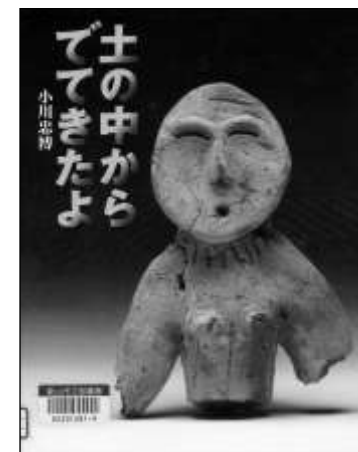
吉田 勝次/著 ポプラ社

探検の「探」は「さぐる」、「検」は「しらべる」という意味なんだ。  
狭いところをはって進んだり、水にもぐったり、危険なところを乗り越えた先で、地球が何億年もかけてつくった鍾乳石に出会うこともあるよ。  
迫力ある写真絵本のページをめくってみてね！

## 「土の中からでてきたよ」(J210オ)

小川 忠博/写真と文  
安孫子 昭二/監修 平凡社

深い土の下、眠っていたものは何？  
食べもののために使われた土器。  
ものを切るのに使われた石器。  
人間やけものの不思議な形もあらわれた。  
よく見ると、くすっと笑っちゃうものも。  
私たちが「縄文人のお子様」だからかもね。



## = 休館日のおしらせ =

【中央図書館】

☆12月☆2・3・9・16・23・28~31日  
☆1月☆1~4・6・14・20・27・31日

【狭山台図書館】

☆12月☆2・9・23・28~31日  
☆1月☆1~4・14・27・31日



## さやまの100冊

「子どものときに読みたい本100冊」として、狭山市の教育委員会がおすすめている本です。図書館ではこのマークが目印です。ぜひ読んでみてください。



狭山市立図書館

中央図書館  
TEL04-2954-4646

狭山台図書館  
TEL04-2958-3801

狭山市公式ホームページ  
<http://www.city.sayama.saitama.jp/>

## 「ロバのシルベスターとまほうのこいし」(EEス)

ウィリアム・スタイグ/作 せた ていじ/訳 評論社



ロバのシルベスターが見つけたのは赤い小石。それは、何でものぞみがかう石だったんだ。  
ところがそこに、はらをすかせたライオンが来て…。

思わず岩になることを願ってしまったシルベスターは、ちゃんと元にもどれるのかな。

## 「石はなにからできている？」(J458二)

西村 寿雄/文 武田 晋一/写真 岩崎書店



月の石は、灰色のものばかり。でも、地球の石は色とりどり。ひとつとして同じ石はないんだ。なにからできているからだと思う？

## 「石の卵」(J458ヤ)

山田 英春/文・写真 福音館書店

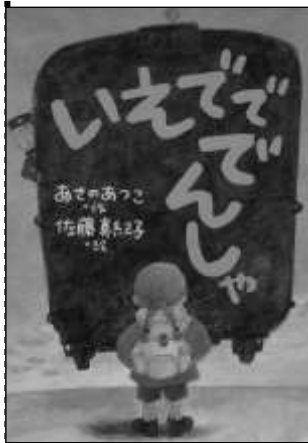
まっぴたつに割ると、中から「ドラゴンの卵」が！  
外からは思いもよらない形や色とりどりの石の中身をのぞいてみてね。



## 「いえでででんしゃ」(JPア)

あさの あつこ/作 佐藤 真紀子/絵 新日本出版社

“ムジツのツミ”でママにおこられたさくら子。「家出する子は、ただでのれますよ」と、しゃしょうさんに言われて、オンボロ電車に乗ってみた。



あれ、となりのクラスのけいすけくんも乗りこんできたよ。

空や海の駅でも不思議な仲間が増えて、みんなで家出の話をしているうちに…。

きっかけは、ちいसानな石。さくら子の気持ちはどこへ行くのかな？

## 「桜石探検隊」(JPカ)

風野 潮/作 よこやま ようへい/絵 こだも鉱物館/監修 角川学芸出版

ぼくは「金石剛」。強そうな名前だけど、しゃべるのはとくいじゃない。でも名前のとおり石が好き。



2学期に転校してきたのは、家が化石と鉱物のお店をやっている、あずりという名の女の子。あずりはクラスをまきこむ強い力を持っている。

ぼくもいつの間にか、めずらしいといわれている桜石探しのリーダーになっていた。

## 「おかえりなさいはやぶさ」

2592日の宇宙航海記

(J538才) 吉川 真/監修 講談社

はやぶさ2の小惑星リュウグウでの活躍は知っているかな？こちらは、初代はやぶさの7年にわたる記録だよ。

世界の宇宙開発から、日本が遅れを取っている時に、数々のピンチを乗り越えてミッションを成功させたんだ。

世界で初めて持ち帰った小惑星(イトカワ)の小さな小さなカケラは、惑星のなりたちの研究に役立っているんだって。

